

7野党党首会談 消費税増税法案を廃案に

日本共産党、みんなの党、社会民主党、新党改革、新党日本、国民の生活が第一、新党きづなの野党7党首は3日、国会内で会談し、消費税増税法案の今国会での成立を阻止し廃案とするために、野田内閣不信任決議案を共同で提出することと合意しました。野田佳彦首相が「政治生命をかける」としている重要法案の阻止のため7野党が内閣不信任決議案提出で一致したのは初めて。消費税増税を狙う民自公にも衝撃が走っています。

内閣不信任案提出で一致

国民の声にたった大義あるもの

共同会見で志位委員長
会談では、みんなの党の渡辺喜美代表が「この間幹事役を務めていただいた市田忠義書記局長（共産）から経過を報告していただき」と述べたのを受け、市田氏が次のように経過を説明しました。

7月31日に6党（共産、みんな、社民、生活、きづな、大地）が国対委員長会談を開催。民自公が6、7両日に中央公聴会を開催することを強行決定し、自公両党が8日にも消費税増税法案の採決を迫る新しい局面のもとで、今国会での消費税増税法案の採決を阻止し、廃案に追い込むために共同した取り組みを行うことを確認しました。

8月2日には、共産、みんな、社民の3党が書記局長・幹事長会

談を開催。（1）今国会での消費税増税法案の採決を阻止し廃案に追い込むために法案採決の前に内閣不信任案を提出する（2）他の野党に協力を呼びかける（3）不信任案提出のための党首会談を呼びかけることを確認しました。

市田氏の経過説明を受けて、7野党の党首がそれぞれ発言し、内閣不信任案提出と可決に向けて国会内外であらゆる努力を行うことと合意しました。不信任案の提出時期については、各党の書記局長・幹事長間で協議して対応していくことを確認しました。

会談後の共同記者会見で志位和夫委員長（共産）は「国民の多数は消費税増税法案に反対しており、不信任案の提出は大義がある」と強調。「可決するべく全力をあげ、消費税増税法案を廃案に追い込みたい。衆議院を解散して審判をあおげ」ということを強く求めていきたい」と述べました。

小沢一郎代表（生活）は「何としても廃案に追い込むというみなさんの主張に賛同する」と表明。渡辺代表（みんな）は「本日参加していない民自公以外の各党派、無所属議員への働きかけも行う」、福島瑞穂党首（社民）は「国民の生活を破壊する増税法案に断固反対」、舛添要一代表（新党改革）は「消費税増税だけが先行していることは到底許しがたい」、田中康夫代表（新党日本）は「消費税増税撤回という一点で7党が結束することを大変誇りに思う」、内山晃代表（新党きづな）は「国民の意思を反映しない政治は政治ではない」と述べました。

7党首の合意

一、消費税増税法案の今国会での成立を阻止し廃案とするために、野田内閣不信任決議案を共同で提出する。
一、同不信任決議案の可決を期し、国会内外であらゆる努力をおこなう。

不信任決議

内閣に対して国会が不信任の意思を示すもので、衆院だけに認められています。発議者と賛同者の計5人以上で議長に提出できます。可決されれば、憲法69条に基づき10日以内に衆院が解散されない限り、内閣は総辞職しなければなりません。

可決されたのは、自民党・宮沢内閣に対するものが最後（1993年）。2011年6月には菅内閣に対する不信任案が与党・民主党から賛成者が出たものの否決されました。

東日本地震・12号台風への救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。

【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願ひします。

磯城郡日本共産党議員団

膨れあがる「原発NO」大阪「ナツダツゲン」パツ！2012

インターネットなどで呼びかけられた原発なくせのイベント「ナツダツゲンパツ！2012」が4日、大阪市内で開かれました。

猛暑続きのなか、イベントの終了後、参加者が関西電力本店前で「原発いらない」と唱和すると、300人余のイベント参加者の隊列に市民が次々に加わり、みるみる数倍にふくれあがりました。

「知れば知るほど原発はなくなっほしい」。昨年生まれて初めてデモに参加したという女性（47）は「兵庫県」は放射線マークに「NO」と描いた手作りのTシャツ姿が似合います。「関西で原発いらないの声が大きくなればいいと思って。普段もこのTシャツを着て、話のきっかけにしています」。

ネットで見て小学校4年の娘と参加した女性「豊中市」は「子どもはこれから原発や放射能の問題と向き合っていくといけないですよ。自分で本当のこととは何か考えられるようになってほしい」。デモには「うそはいらない」と書いたプラカードとともに、野田首相の顔を貼った巨大な「ドジョウ」も登場しました。

イベントでは、ミュージシャンのRANKIN TAXI（ランキンタクシー）さんらのライブやダンスパフォーマンスを4時間にわたって熱演しました。関電本店前で毎週金曜日のデモを主催する女性、東京で「怒りのドラムデモ」を主催する男性らが、原発反対の思いをトークライブで語りました。

2012年8月4日(土)

2012年8月5日(日)

2012.8.7 NO.565

日本共産党

磯城郡議員団だより

和也 Eメール info@k-shiba.jp
芝川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

日本共産党発行



日刊 3,400円
日曜版 800円

ごみ問題、これでいいの？

去る三日、五條市が参入する事による「御所、田原本環境衛生事務組合規約の一部変更」について臨時議会が開かれました。

私は普段から住民から聞いている事について質問しました。六月議会で参事が「収集は午後になる事もある」と言われた事に対して「朝出したごみを長時間放置すること、臭い、小動物によるごみの散乱で不衛生、また掃除当番の人が出勤して居る場合は、近隣の方との人間関係のトラブルになりはしないか。その点、解決策はごつするの？」と質問すると「具体的な数は決めてないが、人と収集車は増やす」という回答でした。

また今後の計画に「不燃ごみ、粗大ごみについて

ても一定の排出抑制策を施し、更なるごみ減量化を行う」とあるが、有料化にするという事ですか？と聞くと「有料化の考えはある」という答弁でした。

不燃ごみ、粗大ごみの不法投棄がある現状なのに有料化すると、ますます増えるのではないかと心配です。

住民の方々を信頼し、意見や知恵を頂きながら共の進めるべきだと主張しましたが、理事者側にはその気はなさそうです。この姿勢でこの町を本当に住みやすい町に出来るのでしょうか？

田原本町議会議員
森 良子



納涼大会

東屏風団地の納涼大会が4日、東公園で行われました。

例年の子供みこし自治会巡回から始まり、和太鼓演奏、マジック、盆踊り、福引、最後に打ち上げ花火を見物し9時過ぎに終わりました。

この納涼大会には毎年、自治会から模擬店として、子供用として、輪投げ、金魚すくい、売店ではお好み焼き、フランクフルト、ビール、ジュース、みたらし団子、うどん等

がだされ、早くも7時過ぎには売り切れの売店も

出てきました。自治会長

から「絆を深めよう」をスローガンにしたいとい

いさつがあり、自治会員同士の親睦親交も各所で行われました。今年、オリンピックの年で人出はあまり多くありませんでしたが、150人前後の方が参加されたのではないでしょう

か。

最後に打ち上げ花火が打ち上げられ、しばしの花火見物ということになりました。

三宅町

池田年夫



御所に清掃工場をつくらせ

先日、臨時議会がありました。議案は、御所・田原本環境衛生事務組合の規約改正です。結果は、賛成多数で、御所と五條と田原本で清掃工場をつくる組織に改変されました。

そこで、御所に清掃工場を造つたらどうなるのか？質問しました。判明したことは、燃えるごみの収集は午前中に終わらず午後にもわるようになること、燃えないごみも粗大ゴミも有料になること、不測の事態が生じた場合はごみ収集ができなくなることです。

五月三〇日平野で収集車が燃えました。京奈和道で燃えたらどうなるのか？積雪や大雨で通行止めになつたらどうするのか？全く検討していない

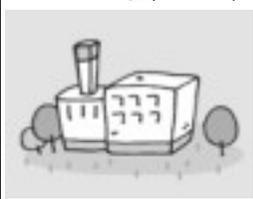
という答弁でした。

法律上、一般廃棄物（ごみ）を処理する責任は町にあります。ところが今の町には、トラブルが発生した場合責任を果す意志もなければ備えもないことになりました。

西竹田の清掃工場には一週間分のごみを溜めるごみピットがあります。そこにさえごみを放り込めば、次の収集にまわります。しかし、御所に持ち込んでから収集する体制になると御所から帰ってこないごみも出てきます。残念ながら町長には、この違いが理解できないようです。

サービス低下だけが待てる御所での建設に反対の声をあげましょう。

田原本町議会議員
吉田容工



地道にこつこつと

今週、広島と長崎に原爆が投下されて六十七回目の夏が巡って来ました。日本国民だけに限りませんが、地球上から核兵器を無くす事に異論の無い人は普通はおられません。にもかかわらず未だに持ち続ける国や、そうした国が有るからこそ、自分も持たん事にはと開発に走る国が有りました。なかなか廃絶には至りません。

この取り組み、簡単に事は運びませんが、成し遂げるには地道に核兵器廃絶への世論と運動を積み重ねる以外に手は有りませんし、広げる事のみです。

国連加盟の圧倒的な国がそうであるように、核廃絶を求める人類の声は

全世界を取り巻いていますし、確実にその歩みは広がっています。その一環でもあります。川西町も非核宣言自治体の一つです。これを広く示そうと結崎駅前にある町の広告塔にその事を掲げています。

要は一握りの核保有国の廃絶への決断有るのみです。決断を渋る事には何の分も有りません。それは、開発はもろろのことを持ち続ける事に何の利も無ければ道理も無いからこそ、確実にその数を減らしている事からも明らかです。

さあ皆さん。道理あるこの歩みを着実に広げて行きましよう。

川西町議会議員
芝 和也

